

谷川連峰 白板山 山スキー

坂村

【日時】 2014年1月25日（土）

【メンバー】 L手嶋、前田、坂村

一番楽しいパウダーの季節。土日で日帰り一本ずつ滑るはずだったが、土日とも気温が高い予報で、しかも日曜に雨が降ることは確実だった。土曜は山に行けても雪が悪いのは間違いない。それであれば滑走の喜びは置いておいて、あまり人の入らない山をピークハントすることで楽しもうということになった。

白板山の西面は扇状で等高線の間隔が美しく、とても魅力的に思えるが、地形的に雪崩の危険があるので東側からのアプローチで計画した。

1月25日（土）曇りときどき晴れ

朝からあまり寒くない。今日は気温がぐんぐん上がる予定だ。

松川入川の脇の民家の横から林道に入る。白板山の北東尾根に乗るまでしばらくは平坦な道を歩く。この間、カモシカやウサギ、キツネ、ネズミなど動物たちの足跡が無数に見られた。人間の住む集落のすぐ裏の森には動物たちの世界が広がっている。彼らがうろちょろと歩く姿を想像し、険の裏のその光景にくすぐったいような喜びを感じながらもそんなそぶりは見せないでポーカークフェイスを装った。

松川入川の右岸側に付いていた林道は、二俣を過ぎると左岸側に移動する。白板山の北東尾根に乗るには再度右岸側に渡る必要があり、渡れるかどうか気になっていたが、奥の二俣を過ぎると沢が埋まっており、首尾よく北東尾根に乗ることができた。

ここからはひたすら尾根を登る。予定通り雪が腐ってきて足が重い。今日の滑りは耐えがたきを耐え…といった感じだろう。それでも振り返って景色の広がりを見るとやはり気分がいいものだ。この

尾根には細くて急な箇所もあり、その場合は尾根を少し外して登ったが、雪がグズグズと崩れるので可能な限り尾根の最も高いところを歩くようにした。



景色はいいけど…

尾根を登りきると、山頂付近はのっぺりとしている。突然現れたカラフルな3匹の大型動物に驚いてカモシカが逃げてゆく。逃げる速度が遅いのは、焦る必要のない安全な距離があると判断したからなのか、それともあの巨体でこの腐った雪をラッセルするのはやはり辛いのか。山頂に到着し、西面の様子を見たが、木が混んでいてあまり快適そうではなかった。



白板山山頂はのっぺりしている

さて、下り。雪の状態がとにかく悪いので、登った尾根を忠実に下ることにした。普通に滑れたのは山頂付近のみ。尾根に入ってから雪に足を取られまくりの我慢我慢の滑りになった。それでも左の沢は木の間隔も適度で、雪が良ければ楽しいルートかもしれない。

尾根が終わるとホッとした。ここからは登りラッセル痕をたどればいい。我々が帰ってくる僅かな隙にカモシカもそれをしっかりと利用したようだ。彼はこの2本のレールとその横に点々と続く穴を何だと思ったのだろう。きっとニオイを嗅いだりもしたに違いない。また胸の奥がくすぐったくなった。

【行程】 林道入口 (8:30) ～白板山 (13:40) ～林道入口 (15:45)

【地図】 土樽

